

第2回鳥栖市都市計画道路見直し検討懇話会 議事要旨

- 1 日時：平成20年12月3日（水） 13:30～16:30
- 2 場所：鳥栖市役所1階 第2・3会議室
- 3 議題：（1）評価方法・評価指標の説明
（2）未着手区間の状況と評価の確認
（3）評価結果（案）の報告
（4）未着手区間の現状確認
（5）評価方法・評価結果に関する審議

議題1 鳥栖市都市計画道路の見直し方法について

（1）評価方法・評価指標の説明

「佐賀県都市計画道路見直しガイドライン」を参考に、本市の評価方法（評価の流れ）を作成し、交通量検証前の評価として検討を行い、確認された。評価指標についても、佐賀県の見直しガイドラインを参考に、評価指標を設定した。

（2）評価内容の確認

設定した各指標がどの区間に該当するか確認し、区間毎の評価を行った。

（3）評価結果（案）の報告

区間毎に各指標の該当状況を分類し、交通処理検証前の素案としながら、「見直し対象（存続候補）」「見直し対象（変更又は廃止）」「計画存続（見直し保留）」の3分類で、評価結果（案）として審議された。

（4）未着手区間の現状確認

各区間の評価結果を確認した上で現地に赴き、未着手区間の現状を確認した。

（5）評価方法・評価結果に関する審議

未着手都市計画道路の現況を確認した上で、指標の該当状況等、不合理な評価・判断、見落としがないかどうか、交通処理検証前の区間別評価について審議を行った。

(議事要旨)

評価方法・指標について

現状の道路ではなく、「都市計画道路が整備されたら」という前提での評価か。

基本的に現状の道路での評価であるが、評価項目によっては整備された場合の効果を想定して評価を行っている。

都市計画から40年以上経っている路線もあるようだが、「現在も当初決定時の根拠が確認できる路線」とは何か当時の書類を確認したということか。

過去の資料を全て確認したが、明確な決定理由を確認できる路線は少ない。当初決定時の根拠の有無は、現在、上位計画に位置づけがあるかどうか等で判断している。

評価は単純な足し算で良いのか。重み付けをしたほうが良いのではないか。

今回は単純な加算方式だが、重み付けをした試算も行っている。今回仮定した重み付けでは、単純な加算方式の結果と、大きな差はみられなかった。

重み付けを行う場合、考え方が違う人たちの意見を設定しないと合理的ではない。この評価は行政視点からの評価だと思う。

進め方について

住民の声はどのように拾い上げて反映されるのか。決定して説明するのではなく、決定前に住民の声を反映できないか。

パブリックコメントはもう行ったのか。見せ方もあるが、最後の姿を見せられると相談されたという意識が持てない。意見を言う場もなく、後は反対するしかない。中間で出した方が良い。

交通量推計にも時間がかかるので今のうちに再度パブコメ(市民意見募集)をやっておきたい。次回は、グレーゾーン(住民の検討余地)を少し設けながら行いたい。

その他

現在生活している人は、住みやすいと考えていると思う。主要幹線道路を除けば、(計画通り整備されると)今までの生活を崩されると思う方が多いだろう。

現場を見た実感では、「存続」がグレー(検討余地あり)、「見直し」は殆ど黒(不要)であり要らないと感じた。

(以上)